

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。
(令和6年12月15日～令和7年1月31日)

前田孝司様 他匿名希望者 3名

寄付金(令和6年度)累計額 832,270円

給食業者様変更のご報告

法人本部 本部長代理 川端 友之

令和6年11月1日から、食事提供体制の冷凍弁当の取得要件に基づき、利用者様の健康管理の強化や給食費負担軽減を目的として、株式会社ジョイントによる食事提供を開始いたしました。

管理栄養士が作成した日替わりメニューの冷凍弁当を、スチーマーで解凍し、利用者の皆様に提供しています。

お弁当は、美味しさをプラスした食事療法食や健康管理食の献立で構成されており、利用者の皆様にも美味しい健康的な食事を召し上がっていただけています。



搬入された冷凍弁当は、冷凍庫に曜日別に保管しています。

スチーマーに当日分をセットします。

スチーマーに6リットルの水を入れてスイッチを押すと加熱が始まります。

お弁当の出来上がり。

当事者の会「だんでの会」について

生活介護事業所こんふーと 主任 西方 守

生活介護事業所では、各班の代表者を投票により選出しています。利用者様の顔写真付きの投票用紙を使い、写真を選んで○をつけたり、名前を書いたりして(自薦も可能です)、各班の代表者を決定しました。現在では、レクリエーションの行き先を各班の当事者の会において、皆さんで決定する機会を設けています。そして、利用者様の希望や意見を取り入れた班別レクリエーションを実施しました。行き先や昼食などの内容を決め『自分たちのレクリエーション』を楽しめています。



編後記

立春を迎え、暦の上では春とはいえ、まだまだ寒さが厳しい日が続きます。皆様、いかがお過ごしでしょうか。今号では、昨年を振り返り、皆様の笑顔あふれるご様子をお届けしています。特に、一泊旅行の楽しそうな表情や、ふれあい祭りで地域の方々と交流されている生き生きとした姿は、私たち職員にとっても大きなやりがいとなります。紙面を通して、少しでもその場の温かい雰囲気が伝われば幸いです。その他にも、第三者評価や創立19周年記念式典など、昨年一年間の法人の活動をご紹介しています。特に創立記念式典については、来年度は法人20周年を迎える年度となります。来る20周年記念式典の準備も着々と進んでおり、職員一同、今から期待に胸を膨らませています。寒暖差が激しい時期ですので、くれぐれもご愛ください。そして、何かお気づきの点やご要望などございましたら、お気軽に声をお寄せください。引き続き、皆様からの声を励みに、より良い施設づくりに努めてまいります。(担当 森・池田)



No.44

特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぽぽ通信

障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる
共生型の施設作り及び地域社会を目指して

発行元: 特定非営利活動法人
だんでらいおん
発行責任者: 久保哲哉
〒546-0023
大阪市東住吉区矢田5-9-8
TEL: 06-7668-1101
発行日: 令和7年3月5日

第三者評価を受けて

生活介護事業所 施設長 栗根亮



昨年令和6年に、特定非営利活動法人NPOかんなびの丘に依頼し、生活介護事業所「こんふーと」「rian」の第三者評価を受審しました。令和6年5月頃から自己評価に着手し、7月25日、26日に訪問調査を受け、11月18日に評価結果を受け取りました。利用者様への支援や家族との連携、近年注力しているICT化などが評価され、具体的には、モニタリング時に図や絵を用いた「活動希望調査票」による希望調査、ほぼ毎月開催している家族会への家族様の高い参加率、会議録へのChatGPTの活用、スマートフォンアプリを活用した車両運行記録やケース記録の管理などが挙げられます。

一方で、今後の改善点として、以下の3点の助言をいただきました。

1. 第三者委員は幅広い分野から選出し、複数名で担うこと。
2. 職員一人ひとりが法人の運営や事業の状況を把握するため、自己評価は関係するすべての職員が行うこと。
3. 行動援護に携わる常勤職員が多いため、ワークライフバランスの充実に向けて継続的な実態把握を行うこと。

1. について、第三者委員は長年、大阪城南女子短期大学の前田崇博教授にご尽力いただいており、事業運営への助言以外に職員研修など多岐にわたるご支援を賜っています。今後は地域の方など、専門職以外の視点でのご意見も取り入れることで、より良い取り組みへと繋げていきたいと考えています。
2. について、これまでの自己評価は主に役職者が行い取りまとめましたが、職員一人ひとりが自己評価に携わることで、法人運営への理解や専門性意識の向上に繋がるものと考えています。
3. について、行動援護は主に常勤職員が勤務終了後の夕方や休日に従事しているため、無理をして健康を害さないか、疲労により本業に影響が出ないかなど、実態を把握することで、より健全な法人運営を目指します。

今回の評価結果を真摯に受け止め、改善点に速やかに取り組むことで、利用者様へのサービスの質の向上、法人全体の更なる発展に繋げてまいります。

右記QRコードより
WAMNET掲載の
当法人の第三者評
価の受審結果がご
覧いただけます。



福祉サービスの質の向上に取り組んでいる
施設・事業所です

評価機関: 特定非営利活動法人 NPO かんなびの丘

まつばぐりよこく 一泊旅行

●生活介護事業所リアン 副主任 張 振巧

令和6年9月13日(金)～14日(土)にかけて、三重県の『二見シーパラダイス(夫婦岩ふれあい水族館)』と『伊勢若松屋』を訪問しました。例年、利用者の皆様に写真を用いたアンケートを実施しており、前年度の課題であった「一泊旅行を通して何に繋げていきたいか」を考慮した結果、今年は「かまぼこ作り体験」を選択しました。この体験が利用者様の経験拡大に繋がることを願い、準備を進めてまいりました。

1日目は、二見シーパラダイスを訪れました。セイウチやアザラシとのふれあいタイムや動物たちのショーがあり、車椅子をご利用の方や視覚に障がいのある方も、セイウチやアザラシとの触れ合いを楽しんでいらっしゃいました。また、水族館2階にある「海底ごりりんホール」では、回遊水槽の美しい景色を眺めながら、思い思いの姿勢でくつろがっていました。

宿泊は『夕雅 伊勢志摩』にお世話になりました。太平洋を一望できるオーシャンビューの大浴場で、絶景を眺めながら温泉を満喫し、皆様リラックスした様子でした。夕食までは部屋でゆったりと過ごし、その後は旅館おすすめの懐石料理を堪能しました。伊勢海老のお造り、牛ロースステーキ、大えびのあがらや、豊富な料理に舌鼓を打ち、皆様大変満足されていました。夕食後には、毎年恒例のカラオケ大会を開催。旅行前に選曲した歌をそれぞれ熱唱し、楽しいひとときを過ごしました。

2日目は伊勢若松屋を訪問。「板かまぼこ」と「焼きかまぼこ」の2種類を作る体験を行いました。エプロンと手袋を着用した皆様は、真剣な表情で魚のすり身を板に乗せていました。作ったかまぼこはその場で味わうことができ、蒸し上がるまでの間は売店で試食やお買い物を楽しみました。自分で作った焼きたてのかまぼこの味は、格別だったと思います。

旅行の2日間は晴天に恵まれ、事故やけがもなく無事に旅行を終えることができました。この貴重な経験を次回に活かし、より良いサービスを提供してまいります。

創立19周年記念式典

●生活介護事業所リアン 主任 東中尾 竜治

令和6年11月3日(日)に松原市にある『まつばらテラス(輝)』の多目的ホールにて、創立19周年記念式典を盛況のうちに開催いたしました。式典は円滑に進行し、利用者の皆様、ご家族の皆様、職員にとって、共に楽しむことができる充実した内容となりました。特に、大道芸のパフォーマンスは大変な盛り上がりを見せ、会場全体が楽しい雰囲気に包まれました。記念品として用意した木製万年カレンダーは品質も高く、参加者の皆様から好評をいただきました。企画から発注、納品まで綿密な準備を行ったことが、成功の大きな要因だったと思います。

また、パフォーマーを応援するために用意したうちわやサイリウムを多くの利用者様にご使用いただいたことで、会場が一体感に包まれたことも印象的でした。準備においては、人員に余裕を持たせたことで落ち着いて対応でき、設備や音響に関してもトラブルなく無事に式典を終えることができました。式典開始前に上映したスライドショーも好評で、ご家族の皆様から「とても良かった」というお声を多数いただきました。記念撮影も事前のシミュ



レーションのおかげで円滑に進行できました。式典後は、羽曳野市にある『喜多八』にて懇親会を開催いたしました。お料理は、お肉、お刺身、うどん、茶碗蒸し、天ぷら、アイスクリームなど豪華な内容で、利用者の皆様、ご家族の皆様との会話を弾み、笑顔溢れるひとときとなりました。利用者の皆様からは「お肉や天ぷらがもっと食べたい」という嬉しいお声もいただきました。1日を通して事故や怪我もなく、無事に式典を終えることができました。



まつ ふれあい祭り

●相談支援事業所 施設長代理 津司 真木子

第19回ふれあい祭りが令和6年10月26日(土)開催されました。今年はふれあい共生会創立30周年ということもあり、ふれあいステージ・出店・絵画展と盛大に行われました。食べ物の出店も多く、つくね団子やチュロスなどこれまでとは異なるメニューが並び、賑わいを見せていました。

だんだらいおんは生活介護のリーダーを中心に、入社2・3年目の職員と共に焼き鳥店を出店し、焼き鳥500食・お茶・ミルクティー・コーラ120本を準備しました。天候が曇りがちだったこともあり、お客様の足並みはゆっくりでしたが、炭火で焼く焼き鳥の香ばしい香りが漂うと、子どもから大人まで沢山のお客様が足を止めてくださいました。この日は法人全体での職員会議だったということもあり、当法人の職員やヘルパーと出かけていた利用者様も売り上げに協力してくださいり、無事に終了することができました。ふれあい祭りを通して他施設様や地域の方々との交流の場となり、楽しい1日を過ごすことができました。

